

# 小規模多機能ホーム福ちゃんの家

## 平成29年度 第4回 運営推進会議

開催日時 平成29年11月11(土) 14:00～

開催場所 福ちゃんの家 2階コミュニティルーム「TSUDOI」

### 運営推進委員

下荒井町内会長	堀江 達郎 様	
下荒井地区民生委員	渡邊 牧子 様	吉野 洋美 様
七郷地域包括支援センター 所長	矢野 直美 様	
すず薬局六丁の目店		
堀田 修クリニック	大山 道雄 様	村上 緑 様
福ちゃんの家 利用者家族代表	相原 祐子 様	
福ちゃんの家 職員	福井 大輔	堀田 茉佑
LDF	松本 幸史	

### 議 題

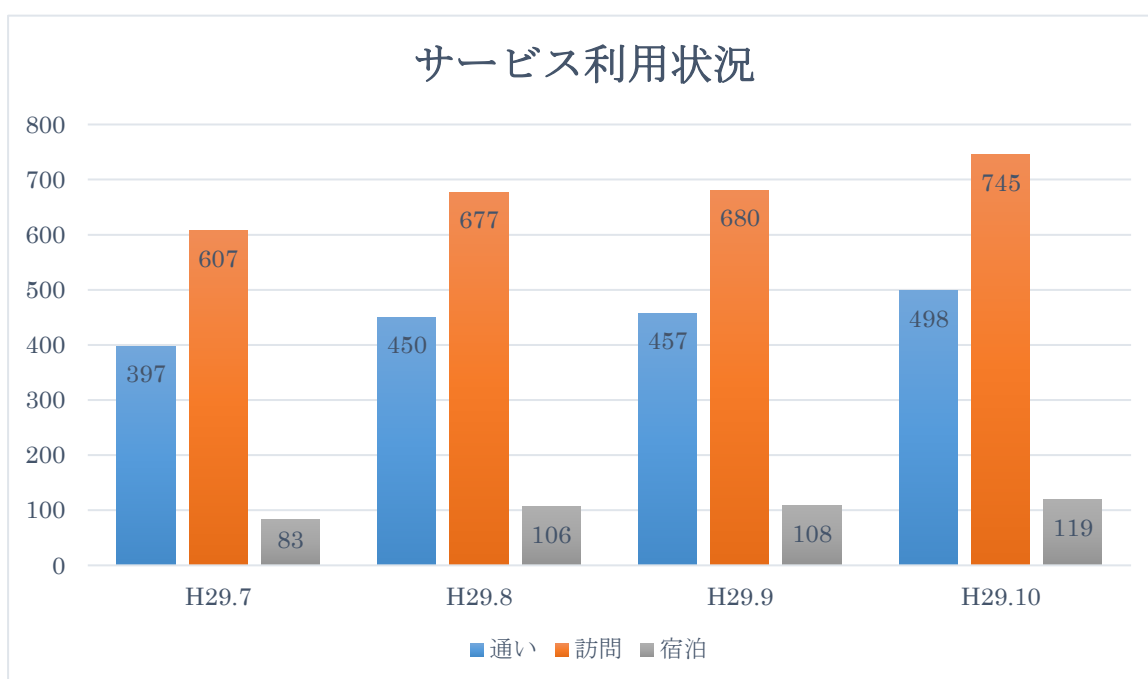
- 1、 福ちゃんの家より報告
- 2、 下荒井町内会様より
- 3、 七郷地域包括支援センター様より
- 4、 民生委員様より
- 5、 すず薬局様より※本日欠席
- 6、 堀田 修クリニック様より
- 7、 その他 報告・連絡 など

# 1、福ちゃんの家より報告

## (1) 事業所の登録状況 (平成 29 年 11 月 10 日 現在)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性	2名	0名	5名	1名	0名	0名	0名
女性	0名	0名	9名	3名	4名	3名	1名
合計	2名	0名	14名	4名	4名	3名	1名

合計 28名登録 ・ 平均要介護度 1.7 ※要支援者は含まず



- ・ 利用契約終了一なし
- ・ 新規利用契約

### ・ H様 (84 歳・女性・南小泉)

遠見塚地域包括より 8 月末より相談あり。夫と長男と三人で暮らしていたが、夫からの声かけに拒否があり、食事が摂れず、清潔が保てず、病院も受診出来ていない状態であった。長男からの声掛けには応じられるが、仕事が忙しく十分に介入できず、訪問・通いサービス目的で 9 月 14 日より利用開始。数回訪問・通いサービス利用されるも老衰・嚥下障害の為 9 月 18 日～10 月 14 日間河原町病院に入院する。退院後利用再開。宿泊サービスを利用し、安定した食事と定期的な入浴が可能となり、スタッフとの信頼関係も築けたのち 11 月 3 日在宅復帰される。現在は毎日の通い・訪問と週 1 回の宿泊利用をプランとして挙げているが、本人の希望でお休みし自宅にて過ごすこともある。

### ・ T様 (83 歳・女性・六丁の目)

東北医科薬科大学若林病院より 8 月下旬紹介。六丁の目にて次女夫婦と同居中。15～16 年前に脳内出血あり右麻痺の後遺症あり。若林病院へは尿路感染症による高熱で入院され、入院中に筋力低下も見られた。9 月 17 日自宅退院されるが、同居家族が共働きの為日中独居となるので、週 3 回 9:30～18:00 の通いサービス利用となる。日中活動として他者との交流や絵を描かれたりなどし過ごされている。

(2) 事業所の事故報告（平成 29 年 9 月 9 日～11 月 10 日）

上記期間での事故報告について報告いたします。

事故項目	件数(件)	詳細
転倒・転落	1	ソファからの立ち上がりで転倒
誤飲・誤嚥	0	
切傷等	1	歩行リハビリ中に転倒し左手裂傷
その他	0	
車輻事故	1	送迎時利用者宅塀の発泡スチロール破損

ひやりハット報告

ひやりハット	11 件	送迎関係 3 件・服薬関係 2 件 忘れ物 1 件・転倒の恐れ 3 件 健康管理 1 件・その他 1 件
--------	------	--

4 月よりひやりハット報告を付箋で挙げていましたが、数は上がるものの十分に検討されておらず、同じ内容の報告が繰り返される様子あり、10 月より従来の様式に戻して実施しておりました。しかし、従来の様式に戻して報告が減少しており、11 月度のスタッフミーティングで改めてひやりハットや事故報告について勉強し、話し合いました。また、記入内容が多いことも減少した一因と考え、今後様式を再度見直し、ひやっとした、ハットした出来事を挙げやすいようにしていく予定です。

(3) 事業所活動報告



～敬老祝賀会～

賀寿の方々のお祝いをさせて頂きました  
本間さんと喜三さんはスタッフと一緒に  
懐かしのダンスタイムでした。





～ハッピーハロウィン🎃～

お隣のカールナーサリーの子供たちとの交流！  
ちょっと風の強い日でしたが、  
小さな子供たちの交流に、  
皆さま笑顔いっぱいでした



～外食・おやつ～  
「たまにはラーメン！」  
近所の幸楽苑にて。  
  
ミスタードーナツでも  
舌鼓







みんな大好きピクニックです。  
暖かい時期にはおにぎり握って、さわやかな風を感じながらいただきました  
秋保にも紅葉を見に行きました。  
まだまだこれからも見ごろですね



#### (4) 事例報告

T様 ( 79歳、要介護1、男性 今泉 )

前回の運営推進会議でご紹介させて頂いた7月より利用開始の男性。アルツハイマー型認知症で奥様と別居中であり、現在も今泉で一人暮らしを継続中。福ちゃんの家からは週3回の通いサービスと毎日の午前午後訪問サービス(掃除・調理・買い物付添・通院介助)を利用されている。

ご本人の現在の生活状況として、内服管理・金銭管理がご自身では難しく、ご自身の管理だとお金を使いすぎてしまったり、「飲まなくて良い」と薬を内服されなかったりある。最近では引き出しにあったすでに振り込まれている退職金振込通知書をご覧になりながら「これ振り込まれるから手続きしなきゃ」と不安を述べられることや奥様への不満を漏らし「俺が居なくなってあいつがここに住むのは我慢ならない。それくらいならあいつを殺して俺も死のうと思っている」など話されることもあった。

##### 【本人の訴え】

家で暮らすのが一番気ままでいい。でも家に一人でいると寂しい・侘しい。お酒を飲むことが一番の楽しみ。何も(金銭・保険証等)手元にないから、どうしたらいいか分からない。

##### 【現在の福ちゃんの家での対応】

###### ・食事

利用開始当初は平日配食弁当も利用されていたが、本人より「もう届けなくて良い」との話が担当者にあり配食中止となる。もともと配食弁当が無い日には調理に入っていた為、事業所からのおかず配食と調理を組み合わせ食事提供していた。現在はご本人が食べるまでの置いて置く時間が長くなってしまいう事からおかず配食を中止し自宅調理に切り替えている。

###### ・内服

午前10時と午後3時半の2回訪問にて対応。人の手から薬を渡されることに敬遠あり、見守りしながらご自身で薬を出して頂き内服いただく。

###### ・金銭管理・買い物

食材費・消耗品費については毎月娘様よりお預かりし、一緒に買い物へ行き必要なものを購入する。バランスのとれたものを食べてほしいという娘様の希望もあり、食材が偏らないよう配慮している。

###### ・掃除

居室内の掃除に関しては本人の拒否が強い時があり、本人と会話しつつ床拭きなど可能な範囲でのみ実施。ご家族様にも報告済み

###### ・その他

夜間の寂しさの訴えに対しては、宿泊での利用もおすすめしている。「いいなあ」と話されつつも「でもやっぱり家が一番気ままだ」と宿泊には至らず。

##### 【今後の課題】

「地域での暮らしを継続していくために」

- ・ご家族様より毎週いくらかお金をお渡ししているが、すぐに使ってしまう、「お金はもらっていない」「お金を貸してほしい」等近所の方に話している
- ・近所の郵便局に保険証の再発行をして欲しいと話に行き、納得できる答えが無いと怒鳴られることがあった

⇒福ちゃんの家としては近所の方や郵便局に事業所の連絡先をお伝えし、何か気になる事があった際にはすぐに連絡して頂くようにし、連絡があった際には伺って対応をしている。

●未来企画代表 福井より

- ・現管理者の曾根が 12/10 付で退職予定
- ・今後支援利用中の A・O 様自費に移行予定
- ・11 月 15-17 七郷中学校職場体験
- ・11/21 若林ケア連絡会 福井・事例発表予定
- ・12/22 認知症家族勉強会 参加予定

●下新井町内会堀江会長より

- ・学習支援の件、長期休みの前にお知らせをお願いします。  
現在地区には 120~130 の小学生、50 人の中学生が居ます。
- ・11/26 町内会の防火訓練があります。消火・濃煙・救急等実施する予定

●吉野・渡辺民生委員より

- ・障害高齢化より、10 月よりインフルエンザが流行のお達しがあった。
- ・制度の不備については住民の声の方が響きやすい。
- ・高齢者の事故について、バスが希望のルートに通っていないと、車を使うことがどうしても出て来ってしまう。また、それが出来なくなると閉じこもりも増加してしまう。
- ・荒井交番より事故や泥棒が多くなってきたとお話あった。

●堀田修クリニック大山事務長より

- ・インフルエンザのワクチンが全国的に不足している。医療従事者が罹患しない為に、どうしてもワクチンの接種は医療従事者等が先になり、その後患者様となる。

●七郷地域包括 矢野所長より

- ・今週木曜に地域ケア会議も終わりました。  
認知症高齢者の車の運転について、3/12 に道交法改正し、認知症の診断がつくと車の運転が NG となりました。しかし家族から「車の運転をして出て行ってしまう」とお話しも聞かれています。  
危ないけど運転しなければ生活できないという方もいます。支援者側とすれば認知症で車の運転をしているとなると「車を取り上げなければ」となって仕舞いますが、本人が納得する形をとる必要があり、例えば大きい車を小さな車に帰る、自動制御装置付きに切り替えるなどの対応が必要。
- ・中倉⇄荒浜と一時停止で停止せずに車を走らせている認知症の高齢者の方が居ます。沿岸でハトに餌をやっているとのこと。